

がつ けいじばん
1月の掲示板より

ちきゅう み
「地球見するうさぎ」

ぶんかつ さいこうせい
「分割と再構成」

しょうちくばい すいせん
「松竹梅と水仙」



ちきゅう み
「地球見するうさぎ—視点を変えると世界が広がる—」

2023年（令和5年）の干支にちなんで、1月の掲示板装飾のテーマは「地球見をする うさぎ」です。「うさぎが餅をついてみたい！」と、中秋の名月を眺める「月見」ではなく、視点を逆にして、「うさぎが月から地球を見ている」というイメージを表しています。

鳥の視点で高いところから広く全体を見る、虫の視点で近くを見る、相手の立場や、全く違う視点から物事を考えるなど、視点を変えると見える世界も違い、さらに広がっていくでしょう。視点を変えて物事を見ることは、新しいものを生み出すきっかけになるのではないのでしょうか。

しょうちくばい すいせん
「松竹梅と水仙」

「松竹梅」は古くからおめでたい時に使われます。1月に咲く、水仙も加えました。松竹梅に込められた意味は、学校HPの
●過去の掲示板は[こちら](#)の、●令和3年度1月の掲示板について[こちら](#)を見てみてください。



ぶんかつ さいこうせい
「分割と再構成」

今月の掲示板装飾は、昨年1月の装飾の松竹梅と水仙、一昨年の9月の装飾の部分を切り取って、再構成しました。9月のうさぎと、今年の干支の卯が共通しています。何も無いところから新しいものの創り出すのは大変ですが、今あるものを分割して構成を変えることで新しい表現になりました。図画工作科でも、新しいものを生み出す学習活動に取り入れています。生活の中でも、みつけてみましょう。

←令和2年度の9月と1月の装飾を、分割・再構成しています。どの部分を使っているのでしょうか？